



東光中学校 建替検討委員会ニュース



東光中学校建替検討委員会（以下「委員会」）では、東光中ブロック3校（東光中、東光小、堅粕小）の校舎の老朽化に伴う建替えを契機に、3校の小規模校の課題を解消するための取組みを含めた建替えの方向性などについて協議しています。

令和7年7月29日（火）に第3回委員会を開催し、以下の建替えパターン等について各団体で集約した意見をもとに協議した結果、**「東光小と堅粕小を統合し、施設一体型の小中学校を整備する（下記パターン①）」**「整備場所は、両校区の中心に近く面積が一番大きい東光中の敷地とする」ことで概ね合意となり、次回（第4回）委員会で確認書を作成し正式合意とする方向で進めていくこととなりました。

<建替えパターン>

<校地面積>

	①小学校を統合し中学校と施設一体型で整備	②小学校を統合、中学校は単独で建替え	③1小学校と中学校を施設一体型で整備	④それぞれを単独で建替え
イメージ	統合 D小中	統合 D小 ※C中は校舎のみ建替え	E小中 B小 ※B小は校舎のみ建替え	C中 A小 B小 ※それぞれ校舎のみ建替え

東光中
約15,650㎡

東光小
約10,900㎡

堅粕小
約13,600㎡

各団体からの意見等

○建替えパターン等について、両校区の自治協議会等及び3校のPTAから、概ね「パターン①が望ましいとの意見が多かった」との報告があった上で、以下のような意見が出されました。

<自治協議会等>

- ・博多区で既に統合している学校もあり、パターン①とするのが時代の流れではないか。東光中校区でも学校の小規模化は大きな課題である。
- ・パターン①の一番のメリットはクラス替えが可能になること。また、学校全体の人数が増えることで、教育活動の幅も広がると思う。
- ・整備場所は通学距離等から考えて東光中の敷地しかないのではないかな。
- ・これから先、子どもがたくさん増えるわけではない。まずは子どもたちのことを一番に考えて、なるべく早く建替えに着工してほしい。
- ・「堅粕小校舎内の清水保育園分園を残してほしい」、「体育館やグラウンドなどは、授業やサークル活動等が重なって使えなくなるのではないかな」などの意見・質問があった。

<PTA>

- ・「子どもが少なくなっているのは事実。住吉小中学校などの例もありパターン①が方向性として時代に合っていると思う」、「学校の規模が大きくなることで、様々な活動が活発にできるようになるのではないかな」などの意見があった。
- ・一部地域の通学距離が長くなることについての不安や、「通学路の安全確保が必要ではないかな」などの意見があった。また、部活動やグラウンド等で行っている子どもの習い事等がどうなるのか心配する声もあった。

<学校>

- ・子どもたちのことを考えると、多くの出会いがあることやクラス替えがあることは非常に有益。
- ・施設一体型の小中学校では、小学生が中学生を日常的にモデルにし、進路についても中学生の姿を見ながら自分の進路を見据えていくなど、様々なメリットが生じる。
- ・職員数が増え、子ども一人をたくさんの視点から見られるようになることは非常に望ましい。

通学距離について

福岡市では、通学距離の基準を「概ね小学校2 Km以内、中学校3 Km以内」としています。両校区から各学校への距離（端の位置から測定）は概ね以下のとおりで、東光中の場合、両校区からの通学距離は全て基準内となります。

現在の校区		住所	各学校への距離		
			堅粕小	東光中	東光小
堅粕小	①	堅粕1丁目	0.8km	1.0km	1.7km
	②	堅粕3丁目	1.0km	1.5km	1.2km
	③	博多駅前2丁目	1.2km	1.6km	2.1km
	④	比恵町	1.2km	1.4km	1.1km
東光小	⑤	東比恵3丁目	1.5km	0.9km	0.5km
	⑥	上牟田1丁目	2.1km	1.5km	1.0km
	⑦	上牟田2丁目	1.9km	1.5km	1.1km
	⑧	上牟田3丁目	1.8km	1.6km	1.3km



その他の主な質問等

運動場等を小中学校が共有する場合、グラウンドなどが狭くならないか心配。学校の部活動や地域サークル等の活動ができる第2グラウンドがあると良い。

- （建替方針合意後の）基本計画の中で、現在の学校施設の利用状況を確認し、これまでの教育活動や地域サークル等の活動をできるだけ継続できるように検討することとしています。

統合や施設一体型の小中学校を整備する場合、学校跡地の活用について方針はあるのか。

- 現時点で建替えの手法や場所が正式に決まっておきませんので、どの学校が跡地化するかも含めて、現時点で決まっていることはありません。
- なお、市有地の活用については、通常、その時点での公共利用や市民ニーズ、地域の特性等を考慮しつつ、様々な視点から総合的に検討を進めていくことになります。

建替えにより、堅粕小内の清水保育園分園（清水博多駅東保育園）がなくなるのではないか。

- 清水保育園分園は、待機児童解消のため緊急的に堅粕小学校の空き教室を活用して整備したものであり、学校の建替えと併せて民間保育所と一緒に整備することは困難です。
- 保育需要の受け皿については、担当局（こども未来局）において、地域の保育ニーズの状況等を踏まえ検討することとしています。

想定スケジュール（目安）



今後の進め方

今回の協議結果を各団体で報告いただき、次回（第4回）の委員会で建替方針（手法、場所）について正式合意とする方向で進めていきます。

合意後は、基本計画に入り施設整備の方向性など具体的な建替えの検討に入っていきます。

※次回委員会は9月頃開催予定

お問い合わせ先

東光中学校建替検討委員会事務局
（教育委員会学校計画第1課）

TEL : 711-4252 FAX : 733-5539

E-mail : gakkokeikaku.BES@city.fukuoka.lg.jp